

道徳教育全体計画

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・その他教育関係法規
- ・小松市教育目標

【生徒信条】

あ 明るいあいさつをする
 す 進んで学習に取り組む
 を 思いやりの心を広げる
 は 覇気ある行動をする
 じ 自治的能力を高める
 く 苦しくとも成し遂げる

【各教科】

国語	思考力・想像力を養い、言語感覚を豊かにし、伝え合う力を高め話し合い能力を身につける。
社会	社会的な諸事象に対する考察や理解を通じて、社会参画の意識や自覚を高め、より良い社会生活の実現に努める態度を養う。
数学	数学的活動の良さを実感して粘り強く考え、数学を生活に生かそうとする態度を養う。
理科	自然の事物・現象を理解しながら、生命を尊重する心や自然を愛する心を養う。
音楽	音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育む。
美術	幅広い創造活動を通して感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。
保健体育	様々な運動の経験を通して、粘り強くやり遂げる、ルールを守る、集団の参加し協力する、一人一人を大切にするといった態度を養う。また健康・安全についての理解を通し、生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直そうとする。
技・家	家庭や地域社会の一員として、自己の生き方を考え、生活や社会をより良くしようとする実践意欲と態度を養う。
英語	英語に対して、意欲・関心を持つとともに、異文化に親しむなかで国際理解の視点を育む。
総合的な学習	各学年のテーマのもと、自ら考え行動できる力や、自分の生き方を考える力を育む。

【学校教育目標】

深く考え よく対話し
 主体的に 探求し続ける
 生徒の育成
 ～温かい人間関係づくりを基盤にして～

【道徳教育の目標】

- ・学校・学級の一員として、自分の役割と責任を自覚し、協力し合って集団生活の充実に努めることができる。
- ・思いやりの心を持って人と接し、周りの善意に感謝して進んでそれに応え、互いの存在を認め合うことができる。
- ・自ら考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任を持つことができる。
- ・より高い目標を設定し、その達成に向けて希望と勇気を持って行動し、苦しくとも成し遂げることができる

【道徳の時間の指導方針】

- ・答えが一つではない道徳的課題を自分自身の問題として捉え、考えを深め、判断し、表現する力を育むことができるように、自分の考えを基に討論したり書いたりする言語活動を充実させる。
- ・指導のねらいに即して、問題解決的な学習、体験的な学習等を適切に取り入れるなど指導方法を工夫する。

【学年の重点目標】

- 1年
- ・学校・学級の一員であることを自覚し、自分の役割に責任を持つことができる。
 - ・思いやりと感謝の心をもって人と接し、互いに認め合うことができる。
- 2年
- ・集団の目的や意義を理解し、自分の役割や責任を果たし、集団生活の充実に努めることができる。
 - ・自律の精神を重んじ、自ら考え、判断し、誠実に行動することができる。
- 3年
- ・集団の在り方について多面的多角的に考え、より良い校風作りに努めることができる。
 - ・自己の目標達成に向けて、困難を乗り越え、最後までやり遂げようと努めることができる。

【家庭・地域との連携】

- ・家庭・地域の生徒への思いを重点目標に反映させる。また、学校行事等を生かして、地域との交流活動を行う。

【小学校・高等学校との連携】

- ・小・中学生指導連絡会、情報交換会
- ・中・高等学校生徒指導連絡協議会
- ・中・高等学校進路指導連絡協議会

【生徒の実態】

- ・純朴で素直な生徒が多い。
- ・自分の決められた役割は行っていることができる。自主的・計画的に物事に取り組めるようになってきた。
- ・自己肯定感が低かったり将来への希望がもてなかったりする生徒も少なからずいる。

【地域の実態】

- ・教育に対する関心は高く、学校には積極的に協力する。

【特別活動】

学級活動

- ・温かい人間関係を築き、集団の一員として自分の役割に責任を持ち、集団生活の充実に努める態度を養う。

生徒会活動

- ・年間テーマを意識して計画された生徒会諸行事や日々の活動を通して、仲間と協力しあう心や愛校心を育む。

学校行事

- ・目標実現にむかって協力しあい、思いやる心や、努力する態度を育む。
- ・地域・社会に貢献できる態度を育む。